

新潟県内
初導入!!

断熱材の有り無し
雨漏れの箇所
柱や筋交の位置

がその場で分かる

「赤外線サーモグラフィ建物診断」とは・・・

県内
最高感度の赤外線
センサーカメラで
診断



赤外線サーモグラフィカメラを使い、主に建物の壁の中の温度変化を写し出すことで、壁の内部の状態を目で確認し、不具合がないかどうかを診断することです。

壁の中の不具合は、高額な費用をかけて床・壁天井や外壁を取り除かないと確認できないことから、気になる箇所があっても、ついそのままにしてしまいがち・・・でもこの赤外線サーモカメラを使うことで、建物を傷つけることなく、不具合箇所をその場ですぐに見つけることができます。

高感度赤外線サーモカメラを使い、壁内を写すと・・・

※当社で使用する500万画素デジタルカメラ + 解像度640×480ピクセルモニターの場合

① 断熱材不足による壁面温度低下箇所の発見

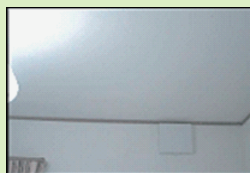


通常カメラ使用

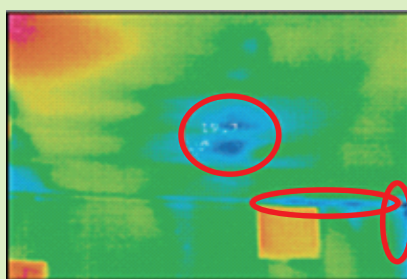


超高感度赤外線サーモカメラ使用

② 雨漏れ箇所の発見

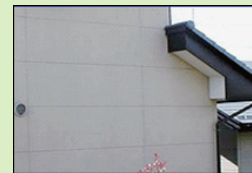


通常カメラ使用

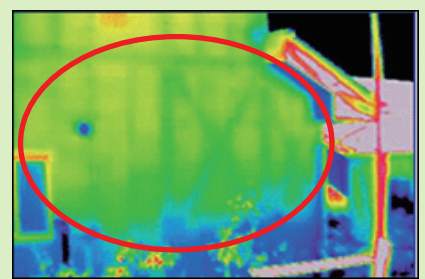


超高感度赤外線サーモカメラ使用

③ 筋交や柱の位置確認



通常カメラ使用



超高感度赤外線サーモカメラ使用